

# つながる すみだ人

## 私の好きな すみだ

今月の1枚  
「幸せへの門出」  
【撮影】横澤勝利さん

本コーナーへの写真を随時  
募集しています。詳細は今号  
3面をご覧ください。



【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



熊谷幸洋さん(文花在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第64回は、文花で48年続く、地域に根付いた理容室「理容クマガイ(文花3-9-3)」を営む熊谷幸洋さんです。

### Q. すみだでどのような活動をしていますか？

自身の店舗で理容師をしています。お客さんと  
の一期一会を大切にしながら、一人ひとりの要望  
や悩みに丁寧に応えるようにしています。

また、寝たきりなどにより来店が困難な方の  
自宅に伺って散髪を行う「高齢者理容・美容サー  
ビス」にも参加しています。区内であれば、北から南  
まで場所は関係なく、希望の日時に合わせて可能  
な限り対応しています。大変なこともあります、私  
を頼りにしてくれることは光栄ですし、訪問先

ではいつも感謝してもらるので、とてもやりが  
いを感じていますね。店舗にいらっしゃるお客  
さんにもそうですが、利用される方へは、自分の家族  
のように親身になって接しています。特別な介護  
が必要な方もいらっしゃいますが、私ができるお  
手伝いは精一杯させてもらいながら、少しでも明  
るい気持ちになれるように“髪を整えるだけであ  
り、心も整える”をモットーにしてやらせてもらっ  
ています。

### Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

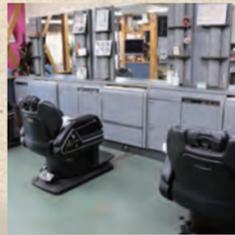
当時、入所した職業訓練所で理容科があり、専  
攻したことがきっかけです。卒業後は地元で修  
行を積んだ後、上京し、尊敬する親方(師匠)が営  
む理容室で働いていました。当時は私のほかに、  
職人が4・5人いて、日々、切磋琢磨しながら過  
ぎていましたね。親方からは、理容師として大  
切なことをたくさん学びましたが、特に印象的  
だったのは“作らずに、理解する”という教えで  
す。当時の私はその意味がよく分からなかった  
のですが、理容師の経験を重ねる中で、それはお

客さんに対する接し方そのものだと気付いまし  
た。お客さんからは様々な注文がありますが、そ  
れにただ応える(=髪型を“作る”)だけに終わら  
ず、その方の要望の先にある「声」に寄り添う(=  
深く“理解する”)ことが、とても大切なんですよ  
ね。理容室等を訪れる際、髪型を整えたり、新た  
なスタイルにチャレンジしたりするにはいろ  
いろな理由があると思いますが、髪型だけでは  
なく、ぜひ心まで、スッキリと晴れやかになっ  
てもらえたら嬉しいです。



▶店内はゆったりとした空間。  
理容椅子同士の間は広めに  
設計していて、車いすの方  
など、どんな方でも利用で  
きるように通やすくなっ  
ています。

◀区の事業での活動の様子。  
散髪の際には、楽しくおしゃ  
べりをしたり、時には聞き役  
に徹したり。その方に一番楽  
しんでもらえるよう、いつも  
心掛けています。



### Q. 熊谷さんは、すみだのどんなところが好きですか？

賑やかで、楽しめて、暮らしやすいところ  
です。以前は、故郷から家族が遊びに来たとき  
に、区外の観光名所に連れて行っていました。東  
京スカイツリー®ができてからは、区内での観  
光はもちろん、押上を中心に街全体が賑わい、この地

域で家族みんなで楽しめるので、とても嬉し  
く思います。また、商業施設等が充実して、日  
用品から贈答品まで、必要なものが全て揃  
うので買物に困りません。便利で、住み心地が  
良いところも好きですね。

### 次回登場してくださるのは・・・

長年、宮田町会の活  
動に携わり、現在は町  
会長を務める高橋廣美  
さんです。

【問合せ】広報広聴担当  
☎5608-6223



# 夢

おも 平和への想いを後世につなげる

墨田区長

山本 亨

2月8日、東京都慰霊堂で開催された「東京大空襲80年 平和と希望の集い」に、地元町会など地域の皆さんと参加しました。当日は、両国中学校の生徒の皆さんによる、平和への想いを込めた演奏や合唱、朗読劇などが披露され、東京大空襲で奪われた尊い命への哀悼の気持ちが強く込み上げてきました。

80年前の昭和20年3月10日に起きた東京大空襲では、東京が一夜にして灰じんに帰し、10万人以上の尊い命が奪われました。特に、本区は区内の7割が廃虚と化し、死者2万8千人以上、負傷者4万人、り災者30万人といわれる惨状でした。甚大な被害を受けた本区では、二度と戦争による災禍が起こらないよう、

未来にわたり平和の実現に一層努力することを誓い、平成元年に「墨田区平和福祉都市宣言」を行いました。それ以来、平和祈念行事の一つとして、区民の皆さんが平和への願いを込めて作る折り鶴を使い、区役所1階アトリウムの壁面に平和のオブジェを制作しています。毎年3月10日に、その年のテーマに沿った新しいオブジェがお披露目されるため、私も平和を祈りながら、その日を楽しみにしています。

そして、若い世代の皆さんが平和学習に取り組み、未来の平和を支える存在として健やかに成長していくことは、私たちの希望そのものです。つらい体験をした方々の想いを後

世につなげるためにも、「人 つながる 墨田区」の取組を更に推進し、今後も歴史を風化させることなく、若い世代に向けて平和の尊さを伝えていきます。



東京都慰霊協会の青山会長、両国中学校合唱部の皆さんと

